

## 中国の化学薬品製造会社とのCO<sub>2</sub>排出権売買契約の締結について

当社は、本日、中国の化学薬品製造会社である江蘇緑陵化工集团有限公司(こうそりよくりょうかこうしゅうだんゆうげんこうし) (本社：中国 江蘇省(こうそしょう)宿遷市(しゅくせんし)、董事長：楊翽氏)との間で、同社が実施する硫酸製造工場の廃熱回収CDMプロジェクトから得られるCO<sub>2</sub>排出権に関する売買契約を締結いたしました。

本プロジェクトにより、本年から2012年までに合計約8万トンのCO<sub>2</sub>排出権の取得を見込んでいます。

当社は、2007年11月から現地に直接赴き、江蘇緑陵化工集团有限公司が設計する硫酸製造工場での調査を実施し、同社との協力関係について2008年1月に覚書を締結しました。この覚書に基づき、当社は、CO<sub>2</sub>削減のための技術的な評価を行い、CDMに必要なプロジェクト設計書を作成し、本プロジェクトの中国政府承認を取得するなど、CDMとしての事業化に向けて主体的に取り組んできました。

本プロジェクトは、現在、日本国内の審査機関による有効化審査を受けている段階です。今後は、日本国政府の承認取得および国連登録に向けた諸手続きを進めてまいります。

当社は、今後も、これらの取り組みを通じてCO<sub>2</sub>排出権を獲得するとともに、海外における温室効果ガスの排出を削減することにより、地球温暖化対策の推進に積極的に取り組んでいきます。

以上

### 【添付資料】

 [江蘇緑陵化工集团有限公司とプロジェクトの概要\[PDF:15KB\]](#)

## 【江蘇綠陵化工集団有限公司の概要】

- ・設 立 : 2003年1月
- ・従業員数 : 約1,500人
- ・所在地 : 中国 江蘇省宿遷市
- ・主な業務 : 硫酸等の化工原料および複合肥料の生産・卸売

## 【プロジェクトの概要】

江蘇綠陵化工集団有限公司が新設した硫酸生産工場では高中温の化学反応熱が大量に発生します。この熱は大気中に放出されることとなりますが、本工場に廃熱回収ボイラ設備を導入し、ボイラで作られた蒸気を自家発電(3,000kW)および複合肥料乾燥用の熱源として利用します。

本プロジェクトにより、工場で使用する電力の買電抑制と、複合肥料の乾燥用の熱源として使用していた石炭焼きボイラの利用抑制を通じ、化石燃料の焼き減らしによる温室効果ガスの排出を削減します。

## 【プロジェクト地点説明図】



出典：外務省ホームページ